

令和2年度 決算のお知らせ

7月19日の決算組合会で可決・承認
されましたのでご報告します。

一般勘定

財務の実態を表す経常収支は、経常収入が前期比6億77百万円減少の31.9億99百万円、経常支出が22億24百万円減少の30.8億33百万円となり、経常収支差引額は11億65百万円と前期比15億47百万円改善し、4年ぶりの黒字となりました。

経常収入では、被保険者数の減少を主因に保険料収入が前期比6億44百万円減少しました。

一方、経常支出では、前期比で保険給付費が16億59百万円減少しました。これは、主として新型コロナウイルスの影響によるものです。一人当たりの保険給付費が19.2千円減少(▲6.4%)したことによる12億34百万円の減少と被保険者数の減少による4億25百万円の減少が合わさり、全体で大きく減少しました。

一般勘定

令和2年度		前期比
被保険者数	61,929人	-1,546
平均標準報酬月額	441,062円	3,271
総標準賞与額	94,326百万円	-1,189

(単位：百万円)

項目	金額	前期比
一般保険料	31,956	-644
その他	43	-33
経常収入計	31,999	-677
調整保険料	549	-11
財政調整事業交付金	565	71
補助金等	155	-37
経常外収入計	1,269	23
収入合計	33,268	-654
事務費	297	-6
保険給付費	17,462	-1,659
1人当たり保険給付費(千円)	282.0	-19.2
納付金	11,484	-226
(前期高齢者納付金)	2,750	5
(後期高齢者支援金)	8,733	-231
(退職者給付拠出金)	0	-1
保健事業費	1,567	-333
その他	23	1
経常支出計	30,833	-2,224
財政調整事業拠出金	535	-11
補助金返還	1	1
経常外支出計	536	-10
支出合計	31,370	-2,234
収支差引	1,898	1,580
(内、経常収支)	1,165	1,547
別途積立金等繰入	1,600	-100
収支残金(決算残金)	3,498	1,480

納付金全体の額は、前期比2億26百万円減少しました。これは、主として後期高齢者支援金が2億31百万円減少したことによるもので、前期高齢者納付金は5百万円増加、退職者給付拠出金は1百万円減少しました。後期高齢者支援金は、令和4年度以降、団塊の世代が後期高齢者入りすることで大幅な負担増が懸念されているほか、今後、新型コロナウイルスの影響で財政が厳しくなっている健保群との調整も想定されますが、足元は落ち着いた動きとなっております。

保健事業費は前期比3億33百万円減少しました。これは、被保険者数の減少のほか、新型コロナウイルスの影響で健診・保健指導全般に一時停止した影響が大きく、その後、健診全般は再開しているものの、保健指導に関しては正常化には時間を要する見込みです。

経常収支の黒字額11億65百万円、経常外収支の黒

引き続き医療費節減のご協力をお願いします

無駄のない適切な受診を心がけましょう

健保組合を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。限られた保険料の給付や、健康増進・疾病予防のための健診事業等に充てるため、引き続き、医療費節減にご協力をお願いいたします。

- 健康管理を心がけ、生活習慣を改善し、健康づくりに取り組みましょう。
- ジェネリック医薬品を活用しましょう。
- 重複受診(同じ病気で、複数の医療機関等に受診)は避けましょう。
- 休日・夜間・早朝の時間外診療などは、緊急のやむを得ない場合に限りましょう。
- 接骨院等で施術を受けるときは、単なる肩こりや筋肉疲労に健康保険は使えません。

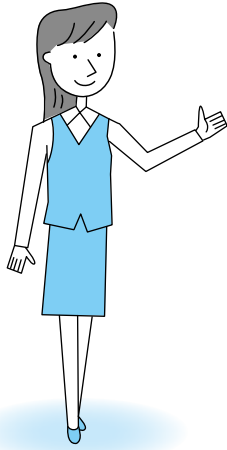
字額7億33百万円および別途積立金繰入額16億円を合わせた収支残金は34億98百万円となりました。

なお、収支残金は、別途積立金に34億84百万円、財政調整事業繰越金に14百万円を繰り入れる決算残金処分を行いました。決算残金処分後の別途積立金の残高は14億78百万円となりました。

決算残金処分内訳

(単位：百万円)

準備金	0
別途積立金	3,484
財政調整事業繰越金	14
合計	3,498



介護勘定

(単位：百万円)

項目	金額	前期比
介護保険収入	4,041	426
利子収入	0	-0
国庫補助金受入	11	-27
繰入金	100	-200
収入合計	4,152	199
介護納付金	4,057	193
還付金	0	0
支出合計	4,057	193
収支差引	95	6

介護保険収入は、前期比4億26百万円増加の40億41百万円となりました。一方、全国の市町村に拠出する介護納付金は前期比1億93百万円増加の40億57百万円となりました。準備金からの繰入金等を含めた収支差引額は95百万円となり、残金全額を準備金に繰り入れました。

介護勘定

保険料収入に占める各支出項目の割合（経常収支@一般勘定）

健保組合の収入の99%以上を皆さまと事業主からの保険料が占めています。

その保険料収入の約54.6%が医療費の支払い等に充てる保険給付費に、約35.9%が高齢者医療制度への納付金に支出されています。

